

平成29年加茂市議会12月定例会会議録（第3号）

12月12日

議事日程第3号

平成29年12月12日（火曜日）午前9時30分開議

第1 一般質問

本日の会議に付した事件

日程第1 一般質問

三沢 嘉男君

1. 病児保育施設の運営について

○出席議員（17名）

1 番	三 沢 嘉 男 君	2 番	藤 田 明 美 君
3 番	白 川 克 広 君	4 番	佐 藤 俊 夫 君
5 番	大 平 一 貴 君	6 番	浅 野 一 明 君
7 番	滝 沢 茂 秋 君	8 番	保 坂 裕 一 君
10 番	森 山 一 理 君	11 番	山 田 義 栄 君
12 番	中 野 元 栄 君	13 番	安 田 憲 喜 君
14 番	茂 岡 明 与 司 君	15 番	樋 口 博 務 君
16 番	安 武 秀 敏 君	17 番	樋 口 浩 二 君
18 番	関 龍 雄 君		

○欠席議員（なし）

○欠員議員（1名）

○説明のため出席した者

市 長	小 池 清 彦 君	副 市 長	吉 田 淳 二 君
顧 問	中 野 清 君	総 務 課 長	五十嵐 裕 幸 君
企画財政課長	武 内 豊 君	税 務 課 長	鶴 巻 信 二 君
農 林 課 長	近 藤 直 樹 君	商工観光課長 教育委員会 社会教育課長	明田川 太 門 君
市 民 課 長	青 木 敏 男 君	健 康 課 長	車 谷 憲 繁 君
建 設 課 長	金 子 正 文 君	都 市 計 画 課 長 水 道 局 長 環 境 課 長	樋 口 敏 晴 君

下水道課長	和田利政君	福祉事務所長 加茂市介護支援センター所長 市民福祉交流センター 「加茂美人の湯」所長 教育委員会 庶務課長	青柳芳樹君
会計課長	井上毅君	教育長	殖栗敏夫君
教育委員会 学校教育課長	栢森耕太郎君	顧問 教育委員会 文化会館長	宇田滋君
教育委員会 公民館長	和田正利君	教育委員会 図書館長	珊瑚保君
監査委員	坂中春信君	監査委員 監事	吉田裕之君
農業委員会 事務局長	佐野雅好君		

○職務のため出席した事務局員

事務局長	菅家裕君	係長	美原弘美君
係長	石津敏朗君	主査	吉田和実君
嘱託速記士	岡本結菜君		

午前9時30分 開議

○議長（森山一理君） これより本日の会議を開きます。

これより議事日程第3号に入ります。

日程第1 一般質問

○議長（森山一理君） 日程第1、一般質問を行います。

通告順により質問を許します。

質問の要旨を順次局長に朗読いたします。

〔事務局長 質問要旨 朗読〕

○議長（森山一理君） 1番、三沢嘉男君。

〔1番 三沢嘉男君 登壇〕

○1番（三沢嘉男君） 皆さん、おはようございます。1番、公明党、三沢嘉男です。ちょっと喉を痛めまして声が出ないのですが、ちょっとお聞き苦しいところもあるかと思いますが、どうぞ御了承お願いいたします。12月定例会におきまして一般質問させていただきます。

今回は、病児保育施設の運営についてでございます。まず、1点訂正お願いしたいところがありますので、よろしくお願いします。2行目の中央付近に「各家族化」とありますが、この「各」の字が間違っておりましたので、訂正お願いいたします。

それでは、質問に移らせていただきます。現在、加茂市では、平成30年の開設に向け、病児保育施設の建設が進んでおります。この病児保育事業は、子育て世代の共働きや核家族化による保護者の負担

を軽減し、仕事と子育ての両立を支援しようと、厚生労働省が子育て世代が安心して子育てできる環境を整備し、児童の福祉の向上を図ることを目的として普及を進めている事業です。加茂市も加茂病院の改築に伴い、市長の御英断で病児保育事業がスタートすることとなり、多くの子育て世帯の不安解消につながると思います。しかしながら、この事業に多くの自治体に取り組んでいる中において、利用者からの改善要望なども多く上がってきています。その中で、加茂市が運営するに当たり、利用者が利用しやすい環境をつくっていただきたく、5点について質問いたします。

まず、1点目は利用時間についてです。多くの施設において利用時間が午前8時から午後6時までとなっており、仕事をしている利用者からは、職場の始業時間が早いことや、残業しなくてはいけない状況もあり、利用時間の延長を求める要望が多く上がっています。このような要望は、病児保育施設が仕事と子育ての両立を支援するという目的を考えると、午前8時から午後6時という時間設定は中途半端に思えます。また、加茂市では、田上町の方も利用することを考えれば、終始30分ずつでも長く利用できる体制が必要と思いますが、市長はどのようにお考えでしょうか。

2点目は、土曜日の実施についてです。現状、どこの施設の情報を見ても土曜日に開設している施設はほとんどありません。しかし、加茂市を初め加茂市近隣の企業で週休2日制の企業が余りないのも実情です。先ほどと同様に、仕事と子育ての両立を支援するには矛盾している点だと思います。実際に土曜日も利用したいとの利用者の要望も多いことから、土曜日の開設も検討いただきたいと思いますが、市長の御意見をお聞かせください。

3点目は、施設を利用できる子供の対象についてです。他市町村では、満1歳以上の未就学児までを対象に行っているところも多くありますが、ゼロ歳から小学6年生までを対象とする市町村も少なくありません。中には保護者の要望で小学6年生まで対象を引き上げるよう検討しているところもあると聞きます。また、千葉県船橋市では、出産後8週間は法律で働くことを禁止しているため、生後57日目から小学6年生までを対象としており、保護者の幅広いニーズに対応できる体制となっております。加茂市でも生後57日目からとは言いませんが、生後6カ月くらいから小学6年生までを対象として検討いただきたいと思いますが、市長の御意見をお聞かせください。

4点目は、病児保育事業送迎サービスについてです。この送迎サービスは、小学校や幼稚園、保育所にいる子供が発熱や腹痛で急な迎えが必要となった場合、仕事中的保護者にかかわって保育士などの市職員が対応するもので、愛媛県伊予市が全国初の取り組みとして行ったサービスです。システムとしては、まず、1、学校や幼稚園、保育所などから急病の連絡が保護者に入る、2、保護者は施設に電話でお迎えを依頼、3、施設の保育士と看護師が公用車で出動し、子供を預かる、4、協力医療機関で診察、5、保育施設で療育、一時預かり、6、仕事が終わった保護者が保育施設に迎えに行くという仕組みです。それが今多くの市町村でも導入されてきており、利用者は少ないと思いますが、これがあるおかげで急に職場を抜けられない場合でも保護者の精神的負担軽減、安心へとつながっています。10月に視察した富山市まちなか総合ケアセンターでは、送迎にタクシーを利用し、タクシー代の4分の3を市が負担するシステムでした。どちらにしても、迎えの連絡が入るのは圧倒的に母親が多いです。女性が働きやすい環境をつくることや、田上町、そして七谷地域の地理的状況も踏まえ、送迎サービスの導入を加茂市でも取り入れるべきと思いますが、市長はいかがお考えでしょうか。

5点目は、保育状況の連絡についてです。他の施設では、お昼に1回保護者に対し、預けたお子さん

の状況をメールで連絡しているところがあります。これは、利用している保護者が自分の子供は知らない人、なれない場所です。どうしているか、心配と不安を抱えて預けている状況があるからです。見えていない分、その不安は大きいのではないのでしょうか。たった1回のメールでも、保護者から見れば大きな安心につながります。ぜひ加茂市でもこのような細かな対応で、保護者からいつ預けても安心と思われる施設環境を整えてスタートしていただきたいですが、市長のお考えをお聞かせください。

最後に、病児施設の開設はまだ先の話ですが、ほかの施設での利用者の声は加茂市でも同様に起こると思います。子育て世代にとって、仕事と子育てを両立する上で大切な施設ですので、利用者目線で御考慮いただき、いかに利用しやすく安心できるかを一番に御検討いただけますよう、よろしくお願いいたします。

以上で壇上の質問を終わります。再質問は自席にて行わせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○市長（小池清彦君） お大事になさっていただきたいと思います。御苦労さまでございます。じゃ、御答弁申し上げます。座って失礼させていただきます。

病児保育園の運営についての御質問であります。まず最初に申し上げなきゃならないのは、今ちょっとした状態にありまして、もう4月末までには病児保育園の建物でき上がるのでございます。それから、保育士さんと看護師さんの試験につきましては既に終わっておりまして、もう合格者発表の段階なのでございます。そうしますと、もう5月いっぱい準備して、6月初めには開園できる状況でございます。それで、加茂病院のほうに、我がほうの体制はそういう状況でございますので、ぜひ6月から開園できるように加茂病院のほうの体制をよろしくお願い申し上げますということを既に申し入れてあるのですが、まだ返事が来ないのです。そうしますと、採用試験の結果発表するときに、あなたは合格でございますが、いつ採用するかは未定でございますと、こういう発表をせざるを得なくなるのです。未定がいつまで続くのか、極論すれば1年続くのか、2年続くのか、そんなことになる、今度は受験した方がこれ一体、この試験何だということになります。ちょっと考えた場合に、加茂市に小児科医が3人おられるから、保護者の方はそこへ連れて行って、まず病児保育園入れていいという許可をもらって連れていけばいいじゃないかと、ちょっとしたところそういう考えが出てくるかと思うのですが、それはだめなのでございます。何となれば病児保育園の面倒を加茂病院が見られないということになりますと、やっぱり病児保育園へお入れした以上は、入れた以後どうなったか、加茂病院のお医者様からやっぱり往診をしてもらわないと、ちょっと非常に安全上問題出てくるのじゃないかと思うのです。それから、このお子さんを今度はおうちへ連れて帰っていいのか、それとももうこの状況では加茂病院に入院させなければならないのか、それもやっぱり加茂病院のお医者様に判断してもらわなきゃいけないわけです。したがって、加茂市に小児科医が3人いるから問題ないよというわけにいかない、加茂病院からの協力が無い限り開園できないのでございます。

一方において泉田知事さんは、ちゃんと病児保育園は加茂病院が面倒見ますと、つくっていいと、そういう約束をしたわけです。それでわざわざ加茂病院へアーケードまでつくってやるよということまで約束されて、アーケードについてはもう私のほうに県御当局から案がやってきて、その案がちょっと、県の敷地の中は、ほかにもアーケードが、バスのロータリーからのアーケードがあるのですが、それと同じ幅にしますと。加茂、田上町の所有している敷地のところはもうちょっと狭くていいかとおっしゃ

るので、それは困りますと。同じ広さにしてくださいと。わかったと。みんなそれは県がお金を出しておつくりになるわけですから。それで、向こうがおっしゃるには、ただし維持費、維持修理費は、加茂、田上町の所有地の領分のは加茂、田上町で負担してくれるかとおっしゃいますので、それはもうそうしますというふうに御返事したところであります。もうそこまで来ているわけです。もちろん新しい加茂病院も開院していないし、アーケードもできておりませんが、しかしながら今の加茂病院の中にも体制整えていただかないとだめなのです。こちらの病児保育施設、加茂病院が面倒見するというお約束なのですから、こちらとしてはスムーズにいくように、もう早速につくったわけです。したがって、そこに鋭意協力する、その面倒を見る体制をちゃんとつくっていただかなければならないわけであり。今そういう状況にありまして、何かこの御質問事項以前の問題でちょっと滞っていると。滞ってはいないと思いますけど、こっちがそれ申し入れてありますから、6月初めから開園したいということで申し入れておりますので、まだ6月初めは来ないですから、滞ってはいないのですが、しかしながら採用試験の結果発表の今もう段階です、ここで実際滞っちゃっているのです。もういつでも発表できる段階で、県御当局のほうで6月初めいいよとおっしゃれば、我々はきょうにでも合格発表して、そして5月いっぱいぐらい準備が要りますから、4月の終わりごろから採用という通知すぐ出せるのですが、今それがストップしている状況であります。ぜひ県御当局の御理解をよろしくお願い申し上げているところでございます。

それでは、御答弁申し上げます。この病児保育施設、つまり加茂・田上病児保育園と称する予定であります、これは共稼ぎの就労家庭の増加に伴い、加茂市と田上町の保育園関係者から、子供が病気の際に一時的に保育を実施してくれる病児保育施設の整備を望む声が高まり、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成に寄与するため、加茂市と田上町の一部事務組合、すなわち加茂市・田上町消防衛生保育組合において整備し、運営するものであります。

この整備につきましては、加茂病院の建てかえに合わせ、田上町長とともに新潟県に要望してきたものであります。建設位置も加茂病院に極めて近く、病院と病児保育園とは県の予算で設置するアーケードでつながることとなり、緊密な連携、協力のもとに運営することが可能となっております。

先般の全員協議会で説明いたしましたとおり、工期が若干おくれませんが、今のところ来年の平成30年4月に竣工、6月には開園できる体制ができ上がることが可能と考えております。

さて、病児保育園の運営についての御質問であります、まずもって病児保育園の運営は加茂病院の協力が不可欠であり、大前提であるということでもあります。ただいま御説明したとおりであります。それを踏まえて答弁いたします。

まず、1点目の利用時間についてであります。当病児保育園の利用に当たっては、まず加茂病院で診察を受け、そこで受け入れてもよいか判断してもらい、また帰宅に際し再度加茂病院から診察してもらうという利用形態を考えております。加茂病院の診察が午前9時からであります。したがって、病児保育園は午前9時から午後6時までの利用時間を考えておりましたが、職員をもっと早くから、あるいはもっと遅くまで配置することは可能ですので、どういう運用ができるか、田上町、それから加茂病院とともに検討してまいりたいと思いますということではあります、9時にならないと診察開始しませんので、早く連れていきたいと言っても、それは不可能であります。これだけは絶対不可能であります。加茂病院のほうで9時より先に診てくれるなんていうはずがないので、そんなことしたらお医者様のほ

うが参ってしまうので、加茂病院は絶対に9時以後でないと診てくれません。したがって、病児保育園にそれよりも早く連れてきていただくことは不可能であるということでもあります。終わりはどうなるのでしょうか。かなり柔軟にということになるのでしょうかけれども、加茂病院のお医者様がそんなに、担当の方が遅くまで加茂病院におられることは考えられませんので、そのお医者様からやっぱり最後ちょいと診てもらわなきゃいかぬと思いますので、それとの絡みでどういうことになるのか、これはそのときの話だと思います。

2点目の土曜日の実施についてであります。これもだめです。答弁としては、こちらは病院が診察しない日でありますので、先ほどの時間延長とは違い、無理ではないかと思えます。かと思えますではないです。土曜日はやっていないのですから。したがって、連れていくことはできないということでもあります。全部加茂病院との連携でしている施設ですので、そうでなければまた別なのですが、それは不可能であるということでもあります。

3点目の利用対象年齢であります。対象年齢につきましては、国の基準ではゼロ歳から小学6年生までを対象にしておりますので、国と同じにしたいのではありますが、したがって小学校6年生まではもう当初から考えているわけですが、ゼロ歳につきましては、もともと虚弱な上に、病児ともなればかなり高度な処置、処遇が必要になります。当面は1歳から小学校6年生までを対象にしたいと考えておりますが、運営していく中で、田上町、病院と一緒に検討していきたいと思えますというのが答弁であります。私が保育士さん、看護師さんの立場になった場合には自信ありません。いわゆる乳飲み子さんは本当に病気というものについては、これは大変であります。熱も一気に40度ぐらいまで上がります。そういう方をこの施設で預かれるかどうか。健康な状態にあるゼロ歳児、これは保育園で、特に私立保育園でお預かりしておりますけれども、病児のゼロ歳児、何か大変なことが起きそうな私は予感がします。その場合、全部加茂市と田上町が責任を負うことになります。私は、それを負う自信ありません。とても。自分の子供でさえ、もうゼロ歳児については、もう毎日毎日心配で大変でございまして、ちょっとでも風邪なんか引こうものならすぐ40度出ますので、これ大変なので、もうすぐやっぱり自分の手で小児科のお医者さんのところへ大急ぎで連れて行って、暖かくして連れて行って、帰ってきたらもう大事にしておく。それを病児保育園でお預かりするのは、私は自信がとてもありません。そもそも育児休業は、みんな1年は少なくともきちっと育児休業とりますので、それはやっぱり保護者が自分のお宅でしっかりと看護をしていただく体制に今、日本国はなっているわけですから、ぜひ育児休業をとっておられるわけですから、御自身でやっていただかないと、とても自信がありません。万一のことでもあったら新聞に出るわ、もう加茂市と田上町の大失態とか怠慢とか大変なことを言われます。とても自信がありません。

4点目の送迎サービスについてであります。加茂病院の診察に際し、家族でないと答えられない問診等もありますので、原則は家族送迎でお願いしたいと思えますが、議員御指摘のように保護者が急には学校や保育園に迎えに来られない、これは迎えのほうですね。したがって、連れてくるほうは、これはこれから病児保育園に預けたいので連れに来てくれと、これはやっぱりお断りしなきゃいかぬでしょうね。そこはやっぱり責任持っていただいて、御自身で連れて行っていただいて、そしてちゃんと加茂病院へ行って診てもらって、それから病児保育園連れてきていただくと。これはやっぱり必ずやっていただかないといけないと思えます。それまたこっちがやって、また大問題が起きて、私もそれは自信があ

りません。議員御指摘のように保護者が急には学校や保育園に迎えに来られない状況もあるかと思いますが、健康な状態だと思って各保育園で預かりしている途中でどうもぐあい悪くなったと、こういう場合だと思うのです。こういう場合には、そのようなときは保育園や学校、小学校6年生までですから、学校も入ります。学校、病院と連携しながら、病児保育園側でも送迎の対応ができるようにしたいと思います。これは、病児保育園のほうで迎えに行くのか、あるいはそれぞれの園で連れてきていただくということで両方あるかと思いますが、恐らくそれぞれの園から連れてきていただくようにしないと、病児保育園が別に手が余裕があるわけでもありませんので、一々病児保育園側から迎えに行くということはなかなか難しいのではないかなと。もっともケース・バイ・ケースで、各園とも今ちょっととてもだめですと、じゃ病児保育園から行かせます、その辺は臨機応変にはあるかと思いますが、原則としてはやっぱり各保育園から連れてきていただくということであろうと思います。その際のどちらから行くにしても、タクシーを使うことになります。タクシー代につきましては、病児保育園の運営費で賄うこととし、保護者負担はいただかないとするのがよいのではないかと考えます。

5点目の保育状況についての保護者への連絡についてであります。こちらにつきましては、確かに子供が病気のときには保護者は心配だと思います。できたら自分で見たいのに、仕事などで見られない方がほとんどだと想像できます。そんなに難しいことではなく、病児保育園利用の際、携帯電話番号とメールアドレスをお聞きし、保護者の都合により電話がよければ電話で、メールがよければメールで情報をお伝えするだけであり、件数も大したことはないわけですので、そのようにしたいと思います。

最後に、病児保育園が利用しやすい園となるよう、利用者目線での運営を心がけてほしいということですが、私の願いは今までも、そしてこれからも加茂と田上の人たちがお幸せになることであります。冒頭申し上げたとおり、加茂市と田上町、そして加茂病院とが一緒になって、みんなに喜ばれる病児保育園となるような運営に努めてまいりたいと考えております。

以上、御答弁申し上げます。

○1番（三沢嘉男君） 御答弁ありがとうございました。

基本的なことですが、私も病気のお子さんというのはやっぱり親が見るのが一番だと、こういうふうには考えております。やっぱり一番そういう状況のときは子供は親に甘えたいというところもありますし、何だかんだ言っても一番近くで見ている親というのがその子供の変化にも気づきやすいというところもあると思いますので、それが基本ではあるのですが、こういった形で今の社会状況考えたときに、こういった病児施設も間違いなく必要になってくるということですので、今回開園される予定にあることは大変にありがたいことだなと感じております。

まず、再質問のほうですが、1点目の利用時間なのですが、ここは市長もおっしゃられたように今まで加茂病院が体制がとれていない状況だということで、加茂病院の診察時間に合わせてということではあるのですが、実際今後の運営の中で、例えば加茂病院だけではなくて、ほかの小児科医との連携をうまくとれるような体制がとれるのであれば、またそういった状況の変化によって時間の変更等考えていくことが可能かどうか、ちょっとお聞かせいただきたいと思います。

○市長（小池清彦君） やってみなきゃわからないと思いますが、常識的にはそういう手の込んだことはしないほうがいいと思います。必ず無理が来ますから。小児科のお医者様だって朝から夕方までずっと診察しておられるわけですから、そこから先誰か当番で病児保育園に来てくれというようなことは常識

的には難しいのではないかと思います。ただ、実際にどうなるかはそのときにならないとわからないと思いますが、一応常識的には難しいだろうと思いますし、余り物事100点満点を狙ってもうまくいかないことが多いのであります。武田信玄なんか5分しか狙わないと言っているくらいで、10分の勝ちをもって下となすと言っているくらいで、必ず何か無理が出てくる可能性があります。ごく常識的に自然な形で運営していくというのが一番いいと思います。それだけでももう、病児保育園があるのですから、随分大したことだと思っております。

○1番（三沢嘉男君） 実際まだ不確定要素も多いですし、開園していないという状況もありますので、確かにはっきりした答えは出ないのだと思いますけれども、これは答弁にもありますように遅くまで配置することは可能ですので、どういう運用ができるのかということで田上町、加茂病院とともに検討してまいりたいとありますので、またこれ本当加茂市だけの施設ではありませんので、田上町のほうからもいろいろともし要望が上がってくるようでしたら、また御検討いただきたい事項かなと思いますので、よろしくお願いいたします。

また、2点目の土曜日の実施という部分も、これは加茂病院の診察、土曜日は加茂病院が診察しないということでありませうけれども、この点も今の段階では加茂病院がメインとなっていますので、いたし方ないのかなと思いますが、こちら辺も、この辺の工業組合なんかの休日予定なんかもやっぱり土曜日は仕事の週もありますので、そういったところ当然保護者からも要望が上がってくるのではないかなと、こういう思いで今回質問させていただいていますので、これまたまだ今の段階でははっきりしない部分ですけれども、今後運営していく段階においてまたいろいろと要望があったときに御検討いただきたい事項としてお願いしたいと思っております。

○市長（小池清彦君） これだけは今の段階ではっきりしております。加茂病院がやらないのですから、そんなときに開くわけにはいかないということでありませう。

○1番（三沢嘉男君） 一応今後のまた運営する中でどういった状況になるかもまだわかりませうので、これはまた今の段階で私も特別重視はしておりませうが、次の3点目のその利用対象年齢という部分で、この対象年齢、市長おっしゃいましたように、確かにゼロ歳児というのは、なかなか言葉もしゃべれないという状況で、状況がわかりにくいという部分はあると思っておりますので、またこれは運営して皆さんなれていく中でまた検討いただきたい事項かなと思っておりますし、ただ育児休暇が1年終わる段階でしっかり病児保育で受けてもらえるということで、1歳から小学校6年生までというのは、これまずは1歳から受けてもらえるというのは非常にありがたいことだと思っております。児童館のように小学校3年生までと言われるとまた厳しかったのですが、そういう運営している市町村もありますので、ぜひ加茂市は1歳から6年生までは最低限と思っておりますので、これはこのようにまたお願いしたいと思います。

4点目の送迎サービスについてですが、これは私の要望以上の結果を市長のほうで判断いただいたということだと思うのですが、当然朝元気に保育園、学校に行って、途中でぐあいが悪くなるということは結構子供は頻繁にあることですので、こういった場合に保護者にかわって対応いただけるそのシステムというのは、本当に働いている、特に多くは女性の方だと思うのですが、非常に安心できるシステムじゃないかなと、こう考えて要望させていただきましたが、その際のタクシー代もこれは病児保育園の運営費で賄うということで、こちら辺も正直田上町、また特に七谷、加茂でいうと七谷の地域のほうは

結構距離もありますので、そういった部分でこういったシステムを加茂市でもやっていただけるというのは本当にありがたいことですので、これも本当に実際運営されたときにかなり保護者の方には喜んでいただけるものではないかなと考えております。

○市長（小池清彦君） 今病児保育園が出すというふうに答弁書には書いてあるのですが、あるいは加茂市と田上町がそれぞれ出すという形になるのかもしれませんが。今、現にそうなのです。今、現に加茂市の市内の保育園で急にお医者様へ連れていったりするときにタクシー使うタクシー代は加茂市が全部負担しているね。（福祉事務所長青柳芳樹君「済みません、ちょっと。保育園からのやつですよ」と呼ぶ）あなた、そう言うたじゃない。（企画財政課長武内豊君「していると思います」と呼ぶ）事務方からそういう答えが来たから書いたのだから。加茂市が負担しているという報告受けたものですから、こういう答弁書きましたので、したがって病児保育園が出すのか、それぞれの園で連れて行って、それぞれの園から加茂市や田上町に請求が来て出すのか、その辺はどっちになるのかということだと思います。いずれにしても加茂市と田上町が出すということになります。

○1番（三沢嘉男君） 本当に田上町でも利用者きつというと思いますので、その費用の配分というのはまた後々の運営で検討いただくことになると思いますので……

○市長（小池清彦君） 病児保育園が出すのであれば、そもそも病児保育園の経費は、もうこのところ後腐れなく人口割にしますので、人口割で田上町と加茂市が拠出するわけです。それが今度は組合の金になりますので、組合から、その中から出ることになります。加茂市、田上町それぞれのお子さんについて、それぞれのまちが出すということであれば、それはそれぞれのまちが自分のところのお子さんの分をそれぞれ出すということになります。

○1番（三沢嘉男君） わかりました。本当にありがたいことだと思うので、ぜひお願いいたします。

また、5点目の保護者への連絡についても、答弁のように要望どおりに実施していただけるということですので、これ私も子育てしていく中でやっぱり見えない部分で子供がどうしているかというのは非常に不安な部分でありましたので、実際こういう連絡方法とっている市町村がありましたので、これはぜひ加茂市でもお願いしたいなということで要望いたしました。

○市長（小池清彦君） こんなことは当たり前のことなので、御要望があるからやりますというような性格のものではないわけであります。病児を引き取っている以上は、その保護者と常時連絡をとり合うと、そういうことは当たり前であります。今各保育園でも特にそういう状態にあるお子さんが出れば、もう各園では保護者と、携帯電話番号を承知していますから、連絡をとってやっているということで、ごく当たり前のことで、むしろこれをやっていないところがあつたらおかしいと。みんなやっているはずであります。

○1番（三沢嘉男君） 本当に最近保育園、幼稚園でもしっかり保護者との連携はとれている状況にありますので、当然といえば当然なのですが、実際にやっていない市町村もあるような状況でしたので、ぜひ運営する前にやっぱり確認の意味も踏まえて加茂市でもしっかりやっていただけるということでしたので、よろしくお願いいたします。

実際、今回の質問はまだ不確定な部分も多い中での質問ではあったのですが、市長もおっしゃっていましたように、やっぱり利用者が本当に利用しやすい環境というのが一番大事なと思いますし、またせっかく運営するに当たっては、やっぱり要望、運営する中でいろんな要望がきつと利用者からもまた

出てくると思うので、またそういったところもその都度できる限り対応いただけるようお願いいたします。そして、私の一般質問終わらせていただきます。ありがとうございました。

○市長（小池清彦君）　それで、何よりも今採用試験結果発表したいのですが、いつから採用しますというのを申し上げられない今段階でありまして、それが一番今大変であります。

以上でございます。

○議長（森山一理君）　これにて三沢嘉男君の一般質問は終了しました。

これで一般質問を全部終了いたしました。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日は、これにて散会いたします。

午前１０時１９分　散会